ゆきかぜ完全屈服記録
中編

うわぁ…大きいなぁ
学園というより一つの街だ

すごいでしょ
御主人様の自慢の学園なんだよ

……『御主人様』…？
ええ、依頼主様のこと
ちょっと特殊な立場にいる御方でね
迂闊に名前を出しちゃいけないの
そ、そうなのか…

じゃあ、学園を案内するわね
あ、うん…

「達郎と話したい」とは言ったけど…
まさか…こんな形でなんて…

達郎を含めた
五車学園を人質に取られ…

あの矢崎に処女を奪われて…

何度も犯されて…

そんなわたしに
『御主人様』が目を付けられた
わたしを矢崎から買い取って
この学園へと招いたのだ

この先に『御主人様』がおられます

重ね重ね申し上げますが
『御主人様』には
決して御無礼なきように…

これを尊守出来ぬのなら
秋山達郎様の安否は保証出来ません
わ…わかってるわよ
では、ごゆるりと…

不来…

部屋で待っていたのは
生気の無い肌をした大柄の男性
この時、本当に生きているのか…と、
失礼にも思ってしまった
この御方が
わたしの愛しい『御主人様』

は、はじめまして……御主人様
本日より…
あなた様の専属肉便器となる…
水城ゆきかぜです

御主人様のような高貴な御方に
選んでいただき…光栄にございます
下賤な『元』対魔忍の身でありますが
どうか存分に…お使い潰しくださいませ

そ、それでは……
御主人様の御立派なおチンポ様に…
忠誠のキスを…させていただきます…

ちゅ…

はぁ…

筋張っていて…
猛々しいおチンポ様……♥
わたしの卑しいこの身を
ご自由に蹂躙してくださいませ…♥

では…
まず、この素晴らしいおチンポ様を…
綺麗にさせていただきます
失礼します…

あむっ♡

あぁ…すごい…
太さも、匂いも、味も……
これが…
これからわたしの中に…
矢崎やゾクトなんかのとは
比べ物にならない…
モゴ…
モゴ…
れろれろ♡

ぷはっ♡
おチンポ様…
綺麗になりました
っ、次は――

ドサッ
すごやぁっ!?

も、もうなされるのですね…

ドキ♥ドキ♥

ど、どうぞ…

存分に犯しくださいませ…

キッ!!

ビクッ♡
あぁぁぁ♡!!
ズンッ

あうう…っ
ふ、太いいい…っ
こんなのおお…
ギ♥ギ♥
ちッちッ

ビクッ♡
あぁッ♡
ズンッ

おっ

あんっ

すぐに…

ズチュッ

ズチュッ

ズチュッ

おっ

おっ

こ、こんな…太さだと…強さだと…

だめぇ…っ

お

ビクッ♡
ビクッ♡
ビクッ♡
ぷしゅッ♡
イっちゃ――

아와와
ぴくぴくぴん

はぁ…

はぁ…

最初の夜はこれで終わった

でも、今ならわかる…

御主人様はこの時…

『手加減』してくださっていたのだと…

ゴポッ

ドキ♥
ドキ♥
それから…

ビクッ♡
あぁッ♡
ぶちゅんっ♡

…毎晩御主人様に犯していただいている

あっ♥
あっ♥
あっ♥
あっ♥
あっ♥
あっ♥
あっ♥
あっ♥
ずぢゅッ♥
ずぢゅッ♥
ずぢゅッ♥
ずぢゅッ♥

あ♡あっ♡

はぁっ♡

犯す度に御主人様は
わたしの悦ばせ方を学ばれていった

あんッ♡

らめぇ…ッ♡♡

あッ♡♡

ばちゅッ♡

ばちゅッ♡

ばちゅッ♡

その一つがこの「焦らし」だ

わたしが「おねだり」するまで
決して挿入れてはくれない…

あ♡
あっ♡
くくくッ♡
あッ♡
ッ♡
ズリュ♡
ズリュ♡

はぁーーっ♥
はぁーーっ♥
く…ください…っ

ゆきかぜの
卑しいメスブタマンコに
御主人様の逞しい
おチンポ様をお恵みくださいっ

ビクッ♡
ビクッ♡
ビクッ♡
ビクッ♡
あぁぁぁ♡!!
ドギュンッ♡!!
ごちゅ♡
ぷしゅッ♡

ようやく与えられたおチンポ様に
わたしの身も心も悦びに打ち震えてしまった

あはぁ♥

あっ♥

あっ♥あっ♥

はっぁ♥

ゴちゅッ♥♥

ゴちゅッ♥

おぼほォォォ♥
ビュルルルッ♥

ドキ♥
ドキ♥
今夜は…
どう犯されてしまうのだろう…

へ
へ
へ
っ
!?
くちゅ
ソ

う、うそっ
ぬ…濡れてるっ!?
ぬるぬる…♥
思い返しているだけなのに…っ

いやあ…
おマンコゆるんじゃう…
御主人様に出していただいた
精液…もれちゃう…っ
どぴゅ

ゆきかぜ、どうかした？
えっ!?
えっと…えと…っ
水城さ～ん

ごめんなさい
水城さん
今朝からあまり調子が良くなくて…
そ、そうなのか？

ええ…
でも、秋山君が来るっていうから
ちょっと無理を…ね
…っ
ここからは私が案内してあげる

ほら、水城さん…今の内に
あ、ありがとう…

ふふ…存分に楽しんでね♥

と、とりあえず
トイレで洗わないと…

ご、御主人様っ!?
なっ
っ!?

だ…だめぇ、御主人様…
もみゅ♡
くちゅ
くちゅ

あ♡あっ♡
あッ♡
こ、ここ…トイレだから…♡
くちゅ♡
くちゅ♡
がク
がク

誰か…来ちゃうかも…っ

ぬちゃ

んんっ…
ちゅぱっ

ぺちゃぺちゃ
れろれろ♡
じゅる♡
じゅるッ♡

ま、待って…ここでやるのは…っ

へ、部屋に戻りましょう

そこでならいっぱい犯してもいいから…っ

ずぶっ

ビクッ♡
あぁん♡!!
ぶちゅんっ♡

抑えこ、声…っ
抑えられないいいっ

ビクッ♡
ビクッ♡
ビクッ♡
イクっ
イっちゃうっ
ゴチュンッ♥

あぁ〜〜〜!!
ぴゅるるッ♡

はぁ〜
はぁ〜
イ…イっちゃった…
射精されちゃった…
でも…よかった…
誰も来なくて…
ドピュ

昨日は大変だったなぁ…
まさか御主人様が
部屋から出てしまわれるなんて…
今日はそんなことなかったけど…

御主人様、
専属肉便器の水城ゆきかぜ…
参りました
…失礼します

え…？
御主人様？
不幸…

いない…っ！
一体何処に…!?
さ、探さないと…

いた！

御主人様！
どうして、こんなところに…
早く部屋に戻りましょう！

きゃあっ！

こ、これじゃあ昨日と同じ…

くぅ…ッ♥

お…抑え込まれちゃった…

♥

くちゅ〜くちゅ〜

やっぱり…
こ、ここでするのですか？

ずるぅ～

ズンッ
ビクッ
あぁん!!

ばちゅッ♥
ばちゅッ♥
ばちゅッ♥
あッ♥あッ♥
あっ♥
あっ♥
あッ♥あッ♥
あっ♥
で、でも…この辺りなら…人も来ないだろうし…
やっぱり…声、抑えられないっ♥

ばちゅ♡
ばちゅ♡
ばちゅ♡
あ…あぁ…
そ…そんな…っ

おごっ♥!!
ビクビク

ご、御主人様あっ
やめてくださいいっ
人が…人が見てますぅっ
わたし達のセックス見られちゃってますぅぅっ
ごちゅッ
ごちゅッ
ごちゅッ
びくっ
びくっ

あっああ…イクっ

イっちゃうよおっ

ゴちゅッ

ゴちゅッ

ゴちゅッ

びくっびくっ

びくんっ

見られているのにいいっ

ぢゅるるるっ
んあああ♥
あああああ!!

イ…イっちゃった…

イっちゃったよお…

どろ★…

ぐぐ

ぴくんっ♡

ぴくんっ♡

見られながらぁ…

なぁ、ゆきかぜ
ん、なぁに？
その…依頼主さんのところで
どんな任務をしているんだ？
やっぱり護衛とか？

あ…それはちょっと言えないかな…
極秘任務でさ
他の対魔忍にも
話しちゃダメなの
そっか…
よっぽどの立場の人なんだな
そーそー
だから言えないんだ
御主人様とのことは…

…言えないに決まってるじゃない…
こんなこと…

ぐぷっ♥
ぐぷっ♥

ぴゅーぷーぷー♡

じゅるるるッ♥
じゅるるッ♥
じゅるるッ♥

本日も…
貴重な特濃ザーメンを
ありがとうございます…
ぱくっ♡

ん、ん…♥
じゅる♥
じゅるッ♥
ッ♥
御主人様はまずキスをして
わたしの小さな胸を
愛しそうに嬲ってくださる
ひゃんっ♥
セックス前の
わたし達の恒例行事だ
らめぇ…ッ♥♥
ギュゥう♥
ぢゅぅぅぅ

こうして…
御主人様に犯していただくようになって…
どれくらい経ったか…

この学園の中では時間の流れが
酷く曖昧のように感じる

ビクッ♡
おぐっ♡
ズンッ♡
ふしゅッ♡

わたしの中は
すっかり御主人様の
おチンポ様の形になってしまった

矢崎とゾクトのはどうだったか…
もう思い出せない

ビクッ♡
ビクッ♡
ビクッ♡

おほオオオッ♥
ぶびゅるるるっ

ぞくぞく♥
あうぅ♥…♥
ぐりゅ♥
ぐりゅ♥
ぐりゅ♥
ぐりゅ♥

ビクッ♡
あんッ♡
ぢゅぽんッ♡

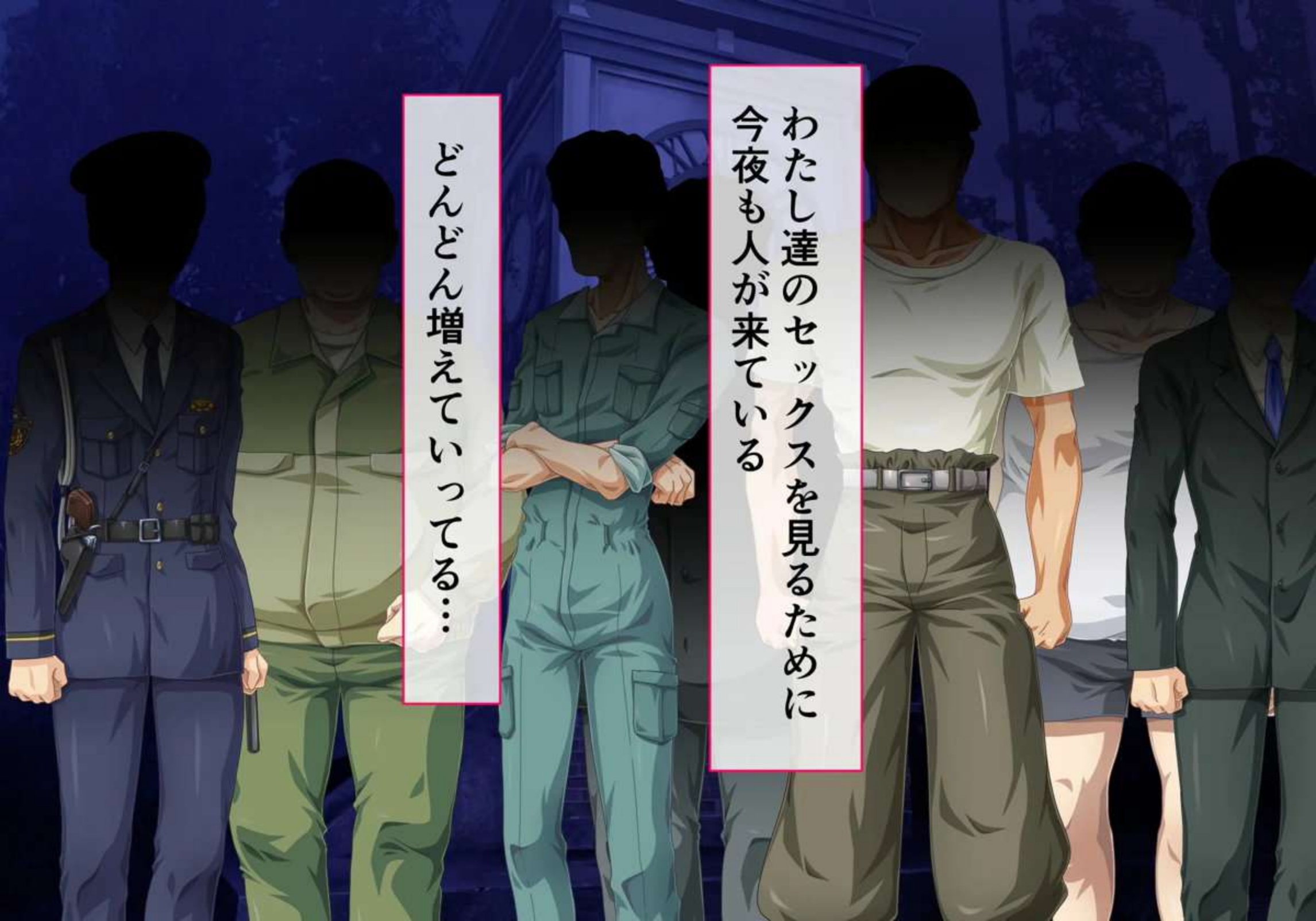
ドキ♥
ドキ♥
ずるん
アナルもそうだ

ぶちゅんっ♡
おほォ♡

御主人様を楽しませ
わたしを悦ばせてくれる
もう一つのおマンコ…

ぶびゅるるるッ
おおおお

外でのセックスも
すっかり恒例になってしまった
ばちゅっ♡
ばちゅっ♡
ばちゅっ♡
おっ♡
おっ♡
おっ♡
おっ♡
おっ♡
おっ♡


わたし達のセックスを見るために
今夜も人が来ている
どんどん増えていってる…

最初は恥ずかしかったのに…

今は…それが気持ち良くて…

ばちゅばちゅばちゅッ

あはぁ

はぁっ

やんん

きっと御主人様もそうなのだろう

ぐくくっ

らめぇ…ッ

ずびゅるるるっ

おほオオオッ

今日もキスして
胸を嬲ってもらって…

ドキ♥
ドキ♥

御主人様との
セックスが始まる…

くちゅ♥
くちゅ♥

ビクッ♡
あぁっ
だが今夜はいつもと少し違う

おチンポ様と共に触手が捻じ込まれ
激しく責め立ててくる

ビクビクビクッ♡

ひぎィィィィ♥

にゅるっにゅるっ♥

ぢゅぼっぢゅぞっぢゅぞっぞっ

あまりの気持ち良さに
意識が飛びそうになるが…

おっおっ

おぉ♡♡

ぼちゅッ♡

ぼちゅッ♡

ほ♥おぉぉ♥!?
ゴチュッ
おチンポ様の激しい突き込みに
すぐに呼び戻される

どうにかなってしまいそうだった

イクッ♥

ビクッ♥ ビクッ♥ ビクッ♥

イクッ♥ イッちゃう♥♥

イクッ♥

ゴちゅッ♥♥

ゴちゅッ♥

ゴちゅッ♥♥

ゴちゅッ♥♥

ゴちゅッ♥♥

んあああ♥
♥あああ!!
ぞくぞくるるっ

んほォ♡
びくっびくっ♡
びくんっ♡
おほォ♡
おぉ〜〜ッ♡
ボボッ♡
おごォ♡
ぬぬぬぬっ
ぬぬぬぬっ
ぬぬぬぬっ
今夜は一回の射精ではしてくれないようだ
何回出されてしまうのか…

ぐぷッ♥
ぐぷッ♥
何回であろうと…
わたしは御主人様が
満足するまで犯されるだけ
ゴポポッ♥

ぶーびゅるるっ♡

それが肉便器・水城ゆきかぜの役目なのだから

どうにも
ここに来てからおかしい
時間の感覚が酷く曖昧だ
俺は一体どれだけ
ここにいるんだ？

俺は本当にゆきかぜのサポートのためにここに来たのか？
拭い切れない違和感がある…
そもそも…
ゆきかぜは凛子姉ぇと…

っ！
ゆきかぜ…？

何処に行くんだ？
……『御主人様』のところ？

見失った…
大分奥まで来てしまったけど…
…？
あの扉…開いている？

お待たせしました、御主人様♥
つ!?

ゆ、ゆきかぜ…!?
その格好…
それに…『御主人様』って…
あの男…人間なのか…？

ふふ…
もう衣服を脱がれて…
わたしとのセックスが
待ち遠しかったのですね
セ…っ!?
な、何を言っているんだ
ゆきかぜ…っ

でも、それはわたしも同じです…
今夜もこの肉便器・水城ゆきかぜを
たくさんたくさん犯してくださいね

では…まず、
おチンポ様を綺麗しましょう

あむっ♡

ゆ…ゆきかぜ…っ
ぐぽぐぽ♥
れろれろ♥

ビュルルル

ちゅぅぅ♡
ちゅぅぅぅ

悦んでいただいて何よりです
気持ち良すぎて出ちゃいましたね
ぴゅっ♡

んん…♥
じゅる♥
じゅるッ♥
あんッ♥
あ♥♥もっとぉ♥♥
ギャう♥
ぢゅうううう

ああ…御主人様あはやくぅ

ぞくぞく♥

ぞくぅ♥

ゆきかぜの卑しいメスブタマンコに御主人様の偉大なおチンポ様をぶち込んでくださいぃ

ズリュ♥

ズリュ♥

あぁ〜
ぐぐぐ…
ぐぐぐ…
ぐぐぐ…

御主人様ああ…
あっ
あっ
もっと…もっと強くしてぇ
ッ
はぁ
ぼちゅッ♡
ぼちゅッ♡
アッ

ビクッ♡
おぐっ♡!!
ズンッ♡
ふしゅッ♡

おごォ♥
ビクッ♡
ビクッ♡
ビクッ♡
おほォ♥
おぉ〜〜ッ♥
ボボッ♥♥
ごちゅッ♥♥
ごちゅッ♥
んほォ♥♥

ぶびゅるるるっ
んほぉぉぉぉぉ♥
オオオオ♥!!

ドキ♥
ドキ♥
ケツマンコを
犯してください♥
御主人様あ
次は…こちらを…♥

ぐちゅんっ♡
おぉほぉぉ♡

んぎっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
んぎっ
おっおっ
んほぉ
おほぉ

ぶぴゅるるるッ
んおお♥
おおお♥!!

あっ♥あっ♥
らめぇ…ッ♥
はっ♥あ
あっ♥
あはぁ♥
ぼちゅッ♥
ぼちゅッ♥
ぼー♥

おほォォ!?
ぴくっ
ぴくっ♥
にゅるっ♥
にゅるっ♥
ぢゅぞっ
ぢゅぞっ
ぢゅぽっ
ぢゅぽっ
にゅるり〜
にゅるり〜

ぐぽっ
おぼぉ
ぐぽっぽっぽっ

ビクッ♡
ビクッ♡
ビクンッ♡
イグゥッ!!
いきましょう!!
ズンッ
ズンッ

♥オんほオオオオ♥!!
ずびゅるるっ♥

びくんっ♡
びくんっ♡
はぁ♥
はぁ♥
どぷ…
どろ…

ほ♥おぉ♥ぉ♥!?
ビクッ♡
ぼちゅっ

まだ、犯したりないんですねっ
どうぞ、満足されるまで犯してくださいぃっ

ビクッ♡ビクッ♡ビクッ♡

わたしは…水城ゆきかぜはぁ

御主人様のための肉便器ですからぁ

ぬぽっぬぽっぬぽっ

ぶびゅるるっ
んぁぁぁぁぁ!!

な…なんで…？

ビクンビクン
ビクンビクン

ヘンタイ
っ?!
覗き見とは
感心しないわね、秋山君

ゾゾゾ
うあっ
ドサッ…

部屋の外からじゃなくて
特等席で見せてあげる♥
お二人が愛し合う姿をね…♥
To be continued...